

2025年度土木学会四国支部技術研究発表会フォーラム

(1) 日時：令和7年6月7日（土）13：10～14：50

(2) 場所：愛媛大学城北キャンパス コラボハウスホール

(3) テーマ：松山城土砂災害の発生メカニズムと教訓

(4) 趣旨：令和6年7月11日、松山城周辺の斜面崩壊に起因する土砂災害が発生した。この災害では、土砂災害警戒区域に指定されていない場所に土砂が流出し、3名の尊い命が失われる甚大な被害が生じた。さらに、当時の降雨量は大雨警報基準に達していなかったにもかかわらず、災害が発生していた。本フォーラムでは、これまでに学術機関や行政が実施した土砂災害発生メカニズムの調査結果を基に技術的な知見の共有を行い、この災害を通じて得られる教訓について深く議論したい。

(5) プログラム

13:10～13:15	開催挨拶	森脇 亮（愛媛大学 教授）
13:15～13:40	「松山城山斜面崩壊・緑町土砂災害」合同調査の報告	森 伸一郎（MORI 研究所 代表）
13:40～14:05	松山市緑町土砂災害対策技術検討委員会による検討結果	中岡 幹（愛媛県土木部砂防課 主幹）
14:05～14:20	松山市城山土砂災害から見る土石流警戒区域の課題	蔣 景彩（徳島大学 教授）
14:25～14:45	全体討論	司会：森脇 亮（愛媛大学 教授）
14:45～14:50	閉会	木下 尚樹（愛媛大学 教授）

※ フォーラムは参加自由，聴講無料です。

どなたでもご参加いただけます。一般の方もご参加ください。